



今金小学校5年生が1年間学んだお米づくりの学習の成果を発表

(6ページに掲載)

今月号のトピックス

- ・今金町稲作部会、今金町畑作部会 50 周年
- ・今金男しゃく香港で試食販売 輸出初の試み
- ・今金男しゃく「じゃがバター」デビュー



JA今金町公式 YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します！

50周年 今金町稲作部会 今金町畑作部会

両部会が節目を迎える

今金町稲作部会、今金町畑作部会が令和6年3月に第50回目となる通常総会をそれぞれ開催しました。

この節目を祝い記念品として、稲作部会では米を原料としたパイオマスプラスチックで作られた茶碗と箸が、畑作部会では50周年記念と印字された水筒がそれぞれ部会員の皆さんへ贈呈されました。

また、稲作部会では6年度より「今金地酒の会」から酒米生産を引き継ぐことから、総会終了後にセレモニーが行われました。

厳しい農業情勢が続くなか、情報の共有・栽培技術向上・消費者との交流・生産者自らの情報発信など生産部会が果たす役割の重要性は益々高まっています。両部会のさらなる発展を祈念致します。



開会挨拶を述べる芳賀早出馬鈴薯振興会長
(3部会合同で総会を開催 内ヶ島畑作部会長は体調不良により欠席)



優良耕作者表彰の様子(畑作・麦作・早出馬鈴薯3部会合同総会)



今金地酒の会 田中稔さんへ感謝状を贈呈



畑作・麦作・早出馬鈴薯3部会合同総会の様子



平原副会長 下田屋会長 内ヶ島副会長

関係者の皆様の日頃からのご協力により50年という節目を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。経営規模の拡大や機械の大型化など、この50年の変化は目まぐるしいものであったと思います。今後も部会への結果により「今金ブランド」を守っていかねばなりません。関係者皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



今金町畑作部会長
内ヶ島 寛良

日頃より、関係機関の皆様にも多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。昨年の異常高温に象徴される生産環境や、消費者ニーズは刻々と変化しています。環境への配慮、またスマート農業の活用など変化に対応しながら町の基幹作物として安定した栽培に取り組みでいかねばなりません。皆様の引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。



今金町稲作部会長
下田屋 直樹

理事会報告

第3回理事会（令和6年3月13日）

◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
 2. 第一委員会報告について
 3. 総会の招待者について
 4. 総会の進行要領について
 5. 営業時間変更のお知らせについて
 6. 令和5年度年間経営定期点検実施報告書について
 7. 資産査定の結果及び償却・引当金の内部監査報告について
 8. 内部監査報告について
 9. 役員推薦会議からの役員候補推薦届出書の受理報告について
 10. 令和6年度種子馬鈴薯作付面積配分について
 11. 「JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針」の変更について
 12. 令和5年度産てん菜共同販売について
- ◆監査報告
- ◆議決事項
- 議案第1号 令和5年度事業決算（案）の承認について
- 議案第2号 令和6年度事業計画（案）の承認について
- 議案第3号 総会の招集及び総会に付議すべき議案並びに総会参考資料について
- 議案第4号 貸付金の特別承認について
- 議案第5号 信用限度を超える貸付金の承認について
- 議案第6号 5千万円超の信用供与等の承認について
- 議案第7号 5千万円超の信用供与等の承認について
- 議案第8号 役員との組合の取引基準について

資格試験合格者のご報告

JA今金町では職員の業務知識向上のため、資格取得を奨励しております。令和5年度農協職員資格認定試験合格者をご報告いたします。

農協職員資格認定試験

【中級合格者】

・車 両 横内 俊樹

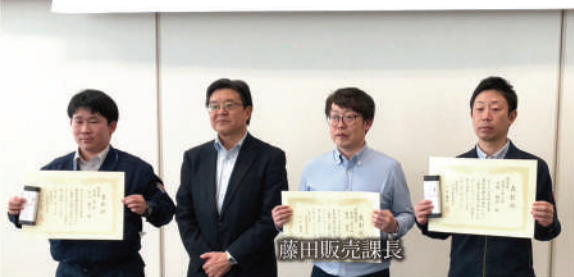
【農協内部監査士合格者】

・販売 課 前田 光

令和5年度農産物鑑定研修会

藤田倫史 販売課長 小麦の部「最優秀賞」受賞

農産物鑑定研修会



1月23日、札幌市で北海道農産協会が開催した農産物鑑定研修会において当JAの藤田販売課長が小麦の部で最優秀賞を受賞しました。今後も鑑定技術の向上に取り組み、適正な農産物検査を行ってまいります。

JA今金町公式LINE 活用法

manager/wp-content/uploads/2022/11/0e781b0a9a11f1d6a0a6d9def459c6ec.pdf

【今月号の見どころ】

Aコープいまかね店の
営業日カレンダーも
ご提供します。

JAや地域の
ニュースを
発信中!

JA今金町
YouTube
チャンネル

JA今金町農協同組合
ホームページはこちら

こちらをクリック!

↑公式LINEのメニュー画面

中央の「ニュースを発信中!」は、日々の出来事をご紹介しているのでオススメです。



広報誌に載っていない出来事もたくさん掲載しています。

水稻の適正な育苗がもたらす効果

農産物の安定した品質と収量の確保は農業経営において欠かすことができません。

檜山農業改良普及センター檜山北部支所が、令和4～5年度に行った「成苗ポット育苗における育苗日数適正化試験」において、

- 育苗日数の適正化**
- ・通常年（「やませ」がある年）は初期生育の向上に繋がる
 - ・初期生育が確保できる年（令和5年のような気象）は穂揃い性の向上に繋がる

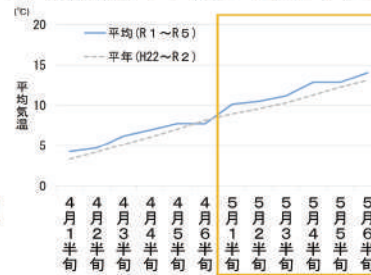
という試験結果となりました。水稻生産の安定向上に向け令和5年の試験結果をご紹介しますので、育苗作業の再点検にご活用下さい。

成苗ポット育苗における『育苗日数適正化』試験（令和5年）

背景

- ・近年、5月中の平均気温が平年より高い
- ・育苗日数が基準内であっても
 - ➡老化苗傾向にある（葉数、乾物重）
 - ①初期生育の低下
 - ②早期異常出穂（不時出穂）発生原因に！

表 育苗期間中の5年間平均気温と平年の比較



Q. 早期異常出穂とは？
A. 7月中旬に主穂のみが先走り、異常に早く出穂する現象です。
穂揃いがばらつき、整粒歩合（特に被害粒）が下がるため、収量・品質低下につながります。

耕種概要

短期育苗区と地域慣行区を再現して試験を実施

農業者	区分	品種	は種日	移植日	ハウス換気方法	株間 (cm)	収穫日
H氏	短期育苗区 (32日間)	ななつぼし	4/18	5/20	手動	16.6	9/4
	地域慣行区 (39日間)		4/20	5/29			
S氏	短期育苗区 (31日間)		4/18	5/19	自動制御装置	24.3	9/4
	地域慣行区 (38日間)		5/26				

※短期育苗区は田植機にて移植
→地域慣行区は、後日手植えで移植

早期異常出穂のリスクが高い「ななつぼし」を選定

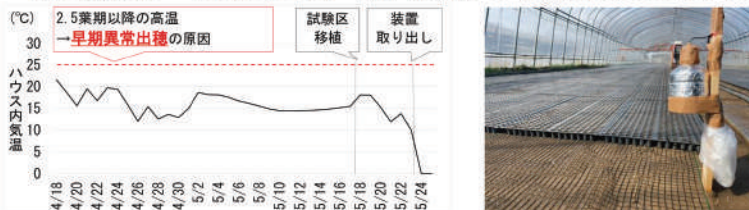


Q. 早期異常出穂の発生要因は？
A. ①育苗2.5葉期以降の高温（25℃以上）
②育苗日数延長による、移植時苗質の老化が要因です。
※品種ごとの発生リスクは「ななつぼし」（高）、「ゆめびりか」（中）、「ふっくりんこ」（低）です。

R5 7/13 撮影

早期異常出穂 発生要因① (2.5 葉期以降の高温 (25℃以上) 管理)

- ・小型温度計「おんどとり」で、は種から移植までのハウス内気温を調査 (H氏)



2.5 葉期以降の高温 (25℃以上) は早期異常出穂の原因となる

育業ハウス内の平均気温は25℃未満で管理されていた (すかし気味で管理)

早期異常出穂 発生要因② (移植時苗質の老化) ※左図H氏、右図S氏



区分	草丈 (cm)	第一穂高 (cm)	葉数 (枚)	分けつ (本)	乾物重 (g/100本)	草丈乾物重比
短期育苗区 (32日間)	13.8	2.4	4.6	1.1	5.8	0.32
地域慣行区 (39日間)	19.9	2.4	5.1	1.0	7.2	0.28
参考値 (25日目)	7.3	-	3.3	-	-	-
基準	10~13	-	3.6~4.0	-	3.0~4.5	-

※基準は「北海道施肥ガイド2020」から引用

- ・短期育苗区を苗質基準と比較
→草丈、葉数 おおむね確保されていた

※早期異常出穂の回避基準 (3.0~4.5葉) より葉数は多かった

※ポット内の根張り、試験区はやや不良



区分	草丈 (cm)	第一穂高 (cm)	葉数 (枚)	分けつ (本)	乾物重 (g/100本)	草丈乾物重比
短期育苗区 (31日間)	12.2	2.4	4.3	0.9	5.8	0.36
地域慣行区 (38日間)	15.0	2.3	4.8	1.1	9.1	0.48
参考値 (25日目)	8.5	-	3.4	-	-	-
基準	10~13	-	3.6~4.0	-	3.0~4.5	-

※基準は「北海道施肥ガイド2020」から引用

- ・短期育苗区を苗質基準と比較
→草丈、葉数 おおむね確保されていた

※早期異常出穂の回避基準 (3.0~4.5葉) より葉数は多かった

※H氏と同様の結果

生育調査

短期育苗は初期生育にどう影響したか

農業者	区分	6/19				7/13			
		草丈 (cm)	葉数 (枚)	株茎数 (本)	有効茎数 (本)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	株茎数 (本)	有効茎数 (本)
H氏	短期育苗区 (32日間)	36.1	7.8	15.4	282	72.8	10.9	32.3	591
	地域慣行区 (39日間)	41.7	7.7	15.4	282	75.6	10.3	35.6	651
S氏	短期育苗区 (31日間)	32.4	7.9	20.4	496	68.2	10.8	48.4	600
	地域慣行区 (38日間)	34.4	7.7	21.0	510	68.9	10.5	48.1	596

- ・6/19 時点、両者両区とも生育は同等
- ・7/13 時点、短期育苗区で生育（葉数）進んだ（短期育苗の影響）

※短期育苗による、有効茎数の確保は判然としなかった
→初期生育確保には、好条件の年であったため

（移植後～6月下旬まで、高温多照で推移した影響）

収量調査

農業者	区分	m ² 穂数 (本)	一穂穂数 (粒)	総穂数 (粒/m ²)	穂実粒数 (粒/m ²)	不稔歩合 (%)	収量 (kg/10a)	籾米重 (kg/10a)	千粒重 (g)
H氏	地域慣行区 (39日間)	633	55.1	34,878	32,018	8.2	640	41.3	22.4
S氏	短期育苗区 (31日間)	543	59.8	32,471	29,549	9.0	536	47.4	21.9
	地域慣行区 (38日間)	525	55.9	29,348	27,969	4.7	526	52.3	22.0

●短期育苗区の結果

- ・H氏…穂数少なく、総穂数は劣った → 収量は同等
- ・S氏…穂数は同等、一穂穂数で稼いだ → 総穂数は多かった
収量は同等

育苗日数は30日間を目安に徒長させない管理を

	育苗日数 25日目	移植時の 苗質比較		根張りの比較	
Hさん ・は種 →4/18、4/20 ・ハウス換気方法 →手動		短期育苗区 (32日間)	地域慣行区 (39日間)	短期育苗区 (32日間)	地域慣行区 (39日間)
Sさん ・は種4/20 ・ハウス換気方法 →自動制御装置		短期育苗区 (31日間)	地域慣行区 (38日間)	短期育苗区 (31日間)	地域慣行区 (38日間)

○ハウス内気温が10℃未満になると、根鉢形成が抑制されるため注意

浸種・は種時期を考え直してみませんか？

～ は種時期の設定（例：5月23日移植）～

地域慣行	浸種	は種	移植	育苗日数
	4/8	4/19	5/23	35日間
	※老化苗は、有効茎数の早期確保が難しい。品質低下にもつながる。			

今後	浸種	は種	移植	育苗日数
	4/13	4/24	5/23	30日間
	(5日作業を遅らせる)			

- ・育苗日数は1か月以内(30日)
- ・浸種、は種作業を遅らせて、

移植日は変えない

移植時期から
逆算した
は種時期の
設定が有効です

※A4サイズの見やすい資料を希望される方は、稲作部会事務局または普及センターまでお問い合わせ下さい。

生育期節

老化苗を移植した場合の生育期節への影響は

農業者	区分	幼穂形成期	早期異常出穂の発生	早期異常出穂発生株数 (%)	出穂期			穂揃い日数	成熟期
					始	期	揃		
H氏	短期育苗区 (32日間)	6/27	-	0	7/20	7/24	7/26	6日間	9/1
	地域慣行区 (39日間)	6/25	6/28	40	7/18	7/25	7/29	11日間	9/3
S氏	短期育苗区 (31日間)	6/27	-	0	7/20	7/24	7/26	6日間	8/31
	地域慣行区 (38日間)	6/26	-	0	7/19	7/24	7/25	6日間	8/31

・H氏地域慣行区で、**早期異常出穂の発生**を確認（老化苗で移植した影響）

・H氏地域慣行区…穂揃い日数がばらついた
→成熟期が2日遅れた

品質調査

農業者	区分	等級	タンパク (%)	整粒歩合 (%)	未熟粒 (%)			被害粒 (%)		死米 (%)	着色粒 (%)
					合計	うち青未熟	うち白未熟	合計	うち胴割		
H氏	短期育苗区 (31日間)	1中	8.9	73.0	25.9	3.4	3.1	1.0	0.5	0.1	0.1
	地域慣行区 (38日間)	1下	9.3	70.2	28.9	7.7	3.7	0.8	0.3	0.2	0.1
S氏	短期育苗区 (32日間)	2中	7.5	66.3	32.2	2.6	8.8	1.1	0.7	0.6	0
	地域慣行区 (39日間)	2上	7.5	67.0	31.1	4.2	6.9	1.3	0.8	0.7	0.1

- ・H氏短期育苗区…タンパク、やや低かった。等級、整粒歩合は同等
- ・S氏…タンパク、等級、整粒歩合は同等（落等要因は、白未熟粒発生による整粒不足）

試験のまとめ

～短期育苗による移植の効果～

通常年

（「やませ」がある年）

初期生育の向上（有効茎数の確保）
による**増収効果**

初期生育が確保
できる年（R5年）

早期異常出穂の抑制による
穂揃い性の向上

今金男しゃくのブランド展開

輸出及び加工品販売への取り組み



香港での試食販売の様子



男爵ラウンジで“じゃがバター”販売開始

『今金男しゃく』海外へ 香港で試食販売を実施

「今金男しゃく」ブランドの展開の一つとして輸出版売の取り組みが始まっています。

JA今金町では今金男しゃくの令和元年9月の「地理的（GI）表示保護制度」への登録をきっかけに、農水省のプロジェクトへの参加や日本貿易振興機構（JETRO）への相談などを通じて海外輸出を模索してきました。今回、本格的な輸出への足掛かりとして1月5日〜7日までの3日間、香港のイオン太古店において試食販売を実施。今金男しゃく初の輸出版売の試みとなりました。

販売にあたっては旭川市の株式会社キョクイチに協力を仰ぎ、船で香港へ輸送。太古店はイオングループ内で世界的にもトップ5に入る売上を誇る店舗で、周辺地域も高級住宅街やオフィス街で購買力が高いエリアです。

試食では、蒸かした今金男しゃくにバターが添えられて提供され、周辺に住む主婦層を中心に今金男しゃくを味わいました。試食をした消費者からは、「他のジャガイモに比べて柔らかく美味しい」「今金男しゃくというブランドは初めて聞いた」など感想が挙げられました。

JA今金町では引き続き、今金男しゃくブランドの価値がさらに高まるようGI登録産品であることを最大限活用し、組合員の皆様の所得向上に繋げるべく取り組んで参ります。

加工品

『今金男しゃく』 じゃがバター登場!

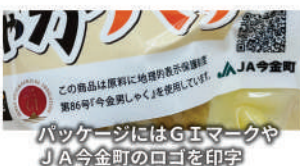
JA今金町では近年、七飯町道の駅に隣接する商業施設「男爵ラウンジ」と連携し、男爵ラウンジ店頭での「今金男しゃく黒毛和牛カレー」取り扱いや、イベントでの産地PRなどに取り組んできました。

新たな取組として昨年から協議を重ね、今金男しゃくを使用した加工品「じゃがバター」が令和6年3月中旬に男爵ラウンジから発売となりました。

バターがたっぷり入っているのが特徴で、お湯や電子レンジで温めるだけで手軽に今金男しゃくを味わうことが出来ます。売れ行きは好調で、今後の展開が期待されます。



バターたっぷり
ぜひご賞味下さい



パッケージにはGIマークやJA今金町のロゴを印字



小分けして販売された今金男しゃく
(香港 イオン太古店)

1年かけてお米づくりを学ぶ

今金小学校5年生の学習

日本の食を支える「米」を学ぶ

今金小学校の5年生は毎年、1年間かけてお米づくりについて授業を行っています。

授業では「田植え・生育調査・稲刈り・粃すり・炊飯」を行い総合的にお米について学習。この授業は農事組合法人「びりかファーム」の全面的な協力で行われており平成19年からスタートしました。

春の田んぼに賑やかな声が響く

『足がはまって動けない!』『うわ! ヒルがいるよっ!』素足で田んぼに入った5年生たちの悲鳴や驚きの声が響きます。

令和5年5月下旬、用意された「ゆめぴりか」の苗を班に分かれて協力しながら植えていく5年生たち。初めての体験にみんな試行錯誤しながら無事に田植えが終わりました。



素足で田んぼへ 賑やかな声が響く毎年の風物詩です



生育調査の様子 カッターで稲を切り幼穂を観察しています



出題されたクイズに答える4年生たち 5年生の発表を熱心にメモしている姿が印象的でした

あのととき植えた苗は… 生育調査も行います

春に植えたゆめぴりかの苗はどうなったのか、7月中旬に5年生たちは再び田んぼに訪れました。大きく成長した苗を実際に触りながら観察し、お米がどうやって育っているのか学びます。

令和5年の授業では、稲刈りは残念ながら悪天候で5年生は行うことが出来ませんでした。田植えと生育調査の様子はJA今金町が動画で紹介しています。



田植えの様子



生育調査の様子

収穫したお米を調理

学習の成果を発表

3月8日、5年生たちは午前中の授業で自分たちが育てたお米を鍋で炊き上げ、おいしく味わいました。

午後からは「今金の米から食を考えた発表会」と題して、春から体験してきた事を「米の病気とその対策」「米の栄養について」など、それぞれの班のテーマに沿ってパソコンを使って作成したスライドを交えて、次年度にこの学習を行う4年生たちに向かって発表を行いました。

農業が基幹産業の今金町でも、大人も含め農業に触れる機会は多くありません。この授業を通して、児童たちが食と農に関心を持つきっかけとなり、思い出とともに成長していくことが期待されます。

JA今金町から5年生たちへ 学習教材を提供

系統農業メーカーのクミアイ化学工業㈱が、小学5年生を対象にお米づくりや農業の役割を伝える冊子を発行したことから、この授業に役立てばと当JAを通じて学校への提供を始めました。今後毎年提供させていただく予定です。大人が見てもためになる内容ですので、ぜひ一度ご覧下さい。



「お米の大切さを学んでもらえれば」と笑顔で語るクミアイ化学工業㈱の大山さん。冊子についての情報を提供いただきました。



「農作業安全」意識していますか？
フレッシュコムズ部会が
講習会を開催



悲惨な事故の実例に真剣に耳を傾ける参加者

J A 今金町女性部フレッシュコムズ部会は2月27日、今金町民センターにおいてホクレン函館支所農機燃自生活課の谷水課長、営農支援室菅野技師補らを講師に農作業安全に関する講習会を行いました。近年、農作業での死亡事故発生率は全産業の約10倍、建設業と比較しても約2倍と非常に高いことから、農作業を安全に行う事に意識を高め行動することが求められています。講習では実際の事故事例をもとに「なぜ発生したのか」「どうやったら防げたのか」などポイントが解説されました。今後更に農作業安全の機運が高まるようJ Aとしても努めてまいりますので、組合員・ご家族みなさまの実践をお願いします。

今金町麦作振興会視察研修
ホクレン肥料空知工場
及びホクレン麦類課を視察



肥料工場で説明を受ける様子

今金町麦作振興会が2月19、20日の2日間、道内視察研修を行いました。ホクレン肥料(株)空知工場では、製造施設・土壌分析センターを見学した他、肥料の情勢などについて説明頂き、また、ホクレン本所麦類課では国際情勢や国産小麦を取り巻く状況、直近の販売状況、北海道における小麦生産・需要の安定化に向けた取り組み等について説明を頂きました。他の作物同様、小麦生産を取り巻く情勢も課題が多く、産地として今後も安定的な生産供給に努めていく必要があります。当町においても年々栽培面積が増加しており、課題解決に向けて今後も生産者・J Aが一体となって取り組んでいく事が求められます。

今金町老人クラブ連合会
学習会「今金町の農業について」
講師：小田島組合長



会場は会員の皆さんで満員御礼

3月6日、今金町老人クラブ連合会の「ふれあい交流学習会」に小田島組合長が講師と招かれ、今金町の農業について講話を行いました。当日会場には約90名と多数の会員の皆さんが参加。講話ではスクリーンに映し出された資料を交えて、近年の栽培品目の状況、作柄や販売高、農業情勢などが小田島組合長から語られました。会員の皆さんには現役を退かれた農業者も多く、国営緊急農地基盤整備事業による大区画化や、ロボット田植え機などスマート農業の進化・普及、今金米や今金男しゃくのブランド展開といった話題にも興味深く聴き入られていました。

NHK函館放送局
「軟白長ねぎ」が
紹介されました



事前の取材や当日のリハーサルなど入念に準備し撮影
(撮影：牧野会長の軟白長ねぎハウスにて)

今金町が誇る特産品「軟白長ねぎ」がNHK函館放送局の取材を受け、3月12日に放送されました。番組では「道南を食べたい！伝え隊！」と題して、白さが自慢の旬を迎えた軟白長ねぎの「軟らかさの秘密」や「町内で提供されているねぎ料理」などが紹介されました。収録は、今金町軟白長ねぎ振興会の牧野会長にご協力頂き収穫途中のハウス内で行われ、今金町出身の地域おこし協力隊、本田公平さんが出演し栽培のポイントや美味しさの秘密を視聴者に伝えました。収録にご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

放送の様子は番組の
ブログからご覧頂けます。





青年部

Now!!

JA今金町青年部では、産地PRを目的として役員と一般部員でプロジェクトチームを結成し、YouTubeやSNS、看板製作などを行っています。

青年部公式キャラクター「ミスターK」が登場するYouTube動画では様々な企画を行ってきましたが、ついに、農林水産省の公式チャンネル「BUZMAFF (はずまふ)」と「ラボレーション」が実現しました！BUZMAFFは、日本全国の農林水産省職員がそれぞれの地域でチームを結成し、地域の特性や仕事内容などを活かしてバラエティ豊かな動画を製作しています。今回の

コラボ動画は北海道農政事務所のチーム「なまらでっかい道」の皆さんが撮影してくれました。なかなかの出来上がりになったので、ぜひご視聴下さい！

また、看板製作では先月号でもお伝えした通り、2年連続で全国大会入賞を果たすなどここ数年、毎年入賞が続いています。『町民の皆さんにもっと知ってもらいたい』という思いで、3月中旬に雪が降りしきるなか受賞名のプレートを設置しました。設置の様子は青年部のYouTubeで公開しているのでもちらもぜひご視聴下さい！



BUZMAFF コラボ動画 絶賛公開中



笑顔で記念撮影！

JA今金町青年部のYouTubeはこちら→



JA今金町スタンド

『夏季営業時間』について

日頃よりJA今金町スタンドをご利用いただきまして誠にありがとうございます。夏季営業時間は以下の通りとなります。

期間：令和6年 4月～10月末まで

7時30分～18時30分 (月～土)

8時30分～17時00分 (日)



ACOP ONLINE STORE

オンラインストア

今金町和牛生産改良組合女性部

今金黒毛和牛を使った

料理講習会



今金町和牛生産改良組合女性部(部長 村本洋子さん)では毎年、和牛の消費拡大や部員交流などを目的に料理講習会を行っています。本年も3月22日に町民センターで開催され、ビーフカレーやハンバーグ、ローストビーフなど8品を調理し味わいました。来年度も実施を予定していますので、部員皆様の参加をお待ちしています。

徹底しよう!

1!! 2!! 3!!!



安全フレーム付き
トラクターの利用



ヘルメットの
着用



シートベルトの
着用



農業機械の 転落・転倒対策



農作業死亡事故は、年間約300件発生し続けています。

デザイン/令和5年農作業安全ポスターデザインコンテスト 農林水産省農産局長賞 谷脇英樹

令和6年 春の農作業安全運動 展開中!

運動期間 令和6年4月～6月

北海道・北海道農作業安全運動推進本部

J A 北海道中央会
J A 北海道厚生連
㈱北海道クボタ
日本ニューホランド㈱

J A 北海道信連
北海道農業共済組合
㈱中セキ北海道
エム・エス・ケー農業機械㈱

ホクレン
(公財)北海道農業公社
ヤンマーアグリジャパン㈱
北海道農機商業協同組合

J A 共済連北海道
(一社)北海道農業機械工業会
三菱農機販売㈱

企画・編集・制作:(一社)日本農業機械化協会 転載・複製・転用を禁ず

J A 広報いまかね 573号 ホームページ <https://ja-imakane.or.jp/>

発行: 今金町農業協同組合 住所: 北海道瀬棚郡今金町字今金 141 番地 電話: 0137-82-0211(代表) 編集: 管理部企画審査課 印刷: 今金はやし印刷社